

- 問1 日本一の長さを誇る信濃川などの流量を分析すると、三月から五月にかけて、降水量の増加以上に流量が顕著に伸びる特徴が見られます。この時期に流量が大幅に増加する理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 長崎公立入試 類似)
1. 上流域に積もった雪が気温の上昇とともに溶け、一斉に河川に流入するため
 2. 梅雨前線が停滞することで、流域全体で長期間にわたる降雨が続くため
 3. 台風が上陸しやすい時期であり、短期間に集中的な雨が降るため
 4. 灌漑用水としての利用が減り、ダムからの放流量を増やす時期にあたるため
-
- 問2 熊本県の阿蘇山周辺に広がる、火山活動によって形成された大規模な窪地（カルデラ）における、人々の生活や産業の特徴を説明したものと最も適切なものを選びなさい。 (2021年 大阪公立入試 類似)
1. 大規模な窪地の内部には平坦な土地が広がっており、田畑がつくられ、鉄道や道路が通るなど人々の生活の場となっている。
 2. 急峻な崖に囲まれた陥没地であるため、現在は居住地としては利用されず、主に地熱発電を行うための工業専用地域となっている。
 3. 窪地全体が厚い火山灰の層であるシラスに覆われているため、稲作には適しておらず、主に広大な牧場で畜産が行われている。
 4. 大規模な窪地は雨水が溜まった巨大な湖となっており、周辺住民の生活用水をまかなうためのダムとして機能している。
-
- 問3 ある地域の海岸線の特徴をまとめた説明として、「岬と湾が交互に現れる複雑な地形で、水深の深さを生かした天然の良港が点在している」という記述があります。この特徴に合致する地名と地形の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 富山公立入試 類似)
1. 若狭湾 — リアス海岸
 2. 鳥取砂丘 — 砂浜海岸
 3. 九十九里浜 — 隆起海岸
 4. 有明海 — 干拓地
-
- 問4 川が急な傾斜の山地から平地へと流れ出る場所に、上流から運ばれてきた砂や礫（れき）が堆積してできた、扇の形をした地形を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 扇状地
 2. 三角州
 3. 台地
 4. 砂丘
-
- 問5 扇状地の中央部において、水田としての利用が少なく、果樹園としての利用が盛んである理由を、土壌の性質の観点から説明したものと最も適切なものを選択してください。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 堆積した砂やれきの層により水が地下に浸透しやすく、表面の水はけがよいから。
 2. 細かい泥や粘土が厚く堆積しており、地表の保水力が非常に高いから。
 3. 標高が周囲よりも低く、大雨の際に水が溜まりやすい湿地帯であるから。
 4. 火山灰が積み重なった土壌であり、酸性が強すぎて米の栽培に適さないから。
-
- 問6 山地が海に沈んだり、海面が上昇したりすることで、もとの起伏が激しい山や谷の地形が水没して形成された、出入りが複雑な鋸歯状（のこぎりの歯のような形）の海岸を何と呼びますか。 (2017年 静岡公立入試 類似)
1. リアス海岸
 2. 砂浜海岸
 3. カルスト地形
 4. 扇状地
-
- 問7 地形図において、等高線が山間部から平野部に向かって放射状に広がっている地形は扇状地と判断できます。この扇状地と、川の終点である河口付近に細かい土砂が堆積してできた三角州を比較したとき、扇状地にのみ当てはまる説明はどれですか。 (2026年 福島公立入試 類似)
1. 川が山地から平地へと出る谷口付近に形成される
 2. 川が海や湖に流れ込む場所に形成される
 3. 粒の非常に細かい泥や砂が堆積してできている
 4. 地形が非常に平坦であり、主に水田として利用される
-
- 問8 地形図上で「博物館」の地図記号が記されている地点において、その施設で行われていることが想定される活動として最も適切なものはどれですか。 (2017年 大阪公立入試 類似)
1. 歴史的な資料や美術品の展示・公開
 2. 一般市民への図書や雑誌の貸し出し
 3. 住民票の発行や税金の納付受付
 4. 遺構としての石垣や掘割の保存
-
- 問9 起伏の激しい山地が沈水することによって形成された、海岸線が複雑に入り組んだ地形を何というか、最も適切な名称を選択してください。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. リアス海岸
 2. 砂丘
 3. 干拓地
 4. 三角州
-
- 問10 太平洋を囲むように分布し、日本列島もその一部に含まれる造山帯の特徴として、最も適切な説明はどれですか。複数のプレートが重なり合う境界付近に位置していることを考慮して選んでください。 (2022年 岐阜公立入試 類似)
1. 新期造山帯に分類され、地殻変動が活発なため、険しい山脈や火山が多く地震も頻繁に発生する。
 2. 古期造山帯に分類され、長期間の侵食を受けたことにより、なだらかな山地や高原が広がっている。
 3. アルプス・ヒマラヤ造山帯に含まれ、ヨーロッパからアジアを横断して日本まで続いている。
 4. 安定陸塊と呼ばれ、地殻が非常に安定しているため、大規模な地震や火山活動はほとんど見られない。
-
- 問11 香川県の島しょ部を描いた二万五千分の一地形図において、ある地点が標高100メートルを示す太い実線（計曲線）の上にあります。そこから山頂に向かって進んだとき、次に現れる「最も近い太い実線」の上に別の地点がある場合、これら二地点間の標高差は何メートルになりますか。 (2017年 高知公立入試 類似)
1. 10メートル
 2. 40メートル
 3. 50メートル
 4. 100メートル
-
- 問12 日本列島の地質構造において、日本アルプスの東側に位置し、列島を地質的に東日本と西日本に分ける巨大な溝のような地形を何というか、次から選びなさい。 (2019年 大阪公立入試 類似)
1. フォッサマグナ
 2. 中央構造線
 3. 日本海溝
 4. 火山帯
-
- 問13 日本列島の地形的な特徴とその背景について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2018年 佐賀公立入試 類似)
1. 環太平洋造山帯に位置しており、地殻変動が活発なため、火山が多く地震も頻繁に起こる。
 2. アルプス・ヒマラヤ造山帯の延長線上に位置するため、8000メートル級の高峰が連なっている。
 3. 大陸の安定陸塊の一部であるため、地震の発生は極めて稀であり、古い地層が露出している。
 4. 古期造山帯に属しており、長期間の侵食を受けたなだらかな山地が列島の大部分を占めている。
-
- 問14 地形図において、小さな円の上部に短い縦棒を組み合わせた地図記号で表される、リンゴやミカンなどの果実を栽培する場所を何といいますか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
1. 果樹園
 2. 茶畑
 3. 畑
 4. 桑畑

答え合わせ・解説

問1	答え 1 上流域に積もった雪が気温の上昇とともに溶け、一斉に河川に流入するため	信濃川の上流域は日本有数の豪雪地帯です。春先の三月から五月は、雨そのものの量が増えるだけでなく、冬の間に蓄えられた広範囲の積雪が気温の上昇によって溶け出します。この「雪解け水」が河川に流れ込むため、同時期の降水量から予想される以上の水量が河川を流れることとなります。太平洋側の河川である利根川などと比較しても、日本海側の河川において非常に際立った特徴として知られています。
問2	答え 1 大規模な窪地の内部には平坦な土地が広がっており、田畑がつくられ、鉄道や道路が通るなど人々の生活の場となっている。	阿蘇山のカルデラは非常に規模が大きく、その内部（カルデラ盆地）には多くの集落が存在し、農業が盛んに行われています。火山がもたらす恩恵と脅威の両面と共生しながら、人々が日常的に生活している点が大きな特徴です。選択肢にある「シラス」は主に鹿児島県から宮崎県にかけて広がる台地を指す用語です。
問3	答え 1 若狭湾 — リアス海岸	岬と湾が入り組んだリアス海岸は、水深が深く船を停泊させやすいため、古くから「天然の良港」として利用されてきました。若狭湾はこの代表的な地形が広がる地域であり、物流や漁業の拠点として重要な役割を果たしています。
問4	答え 1 扇状地	山地から平地へと川の流れが急激に緩やかになる地点では、運搬されてきた砂や礫が堆積し、扇を広げたような地形が形成されます。地形図上では、山地から平地に向かって等高線が同心円状に広がっていることが特徴です。
問5	答え 1 堆積した砂やれきの層により水が地下に浸透しやすく、表面の水はけがよいため。	扇状地の中央部（扇央）は、上流から運ばれてきた粒の大きい砂やれき（砂利）が堆積してできています。このため、雨水や川の水が地表に留まらずに地下へ抜けていく性質を持っており、乾燥を好む、あるいは水はけのよい環境を必要とする果樹の栽培に適しています。一方、水を溜める必要がある水田には適さないため、古くから土地の特性に応じた利用がなされてきました。
問6	答え 1 リアス海岸	起伏の多い山地が海面下に沈む「沈水」という現象によって作られる人目に付きやすい地形です。海岸線が複雑に入り組んでいるため、波が穏やかになりやすく、古くから天然の良港として利用されてきました。
問7	答え 1 川が山地から平地へと出る谷口付近に形成される	扇状地は、川が勾配の急な山地から緩やかな平地へと流れ出る「谷口」を起点として形成されます。一方、三角州は川の最下流である「河口」に、より粒の細かい泥などが堆積して形成される地形で、標高が低く平坦であるため水田として利用されることが多いのが特徴です。地形図上でも、扇状地は緩やかな傾斜地として描かれますが、三角州はさらに平坦な土地として描かれます。
問8	答え 1 歴史的な資料や美術品の展示・公開	博物館の地図記号は、博物館法に基づく施設のほか、美術館や歴史資料館など、文化的な資料を収集・保存し、公衆の閲覧に供する施設に用いられます。図書の貸し出しは図書館、行政事務は官公署（市役所や町村役場）、古い城の跡は城跡の記号がそれぞれ対応しており、施設の設置目的や機能によって使い分けられています。
問9	答え 1 リアス海岸	山地の谷の部分に海水が入り込むことで、入り江と岬が交互に並ぶ複雑な海岸線が形成されます。この地形はリアス海岸と呼ばれ、日本では東北地方の三陸海岸、三重県の志摩半島、福井県の若狭湾、そして九州北西部の長崎県などに多く見られます。もともと山であった場所が沈んだため、平地が少なく水深が急に深くなるという特徴があります。
問10	答え 1 新期造山帯に分類され、地殻変動が活発なため、険しい山脈や火山が多く地震も頻繁に発生する。	日本列島が位置する環太平洋造山帯は、中生代以降の比較的新しい時代に形成が始まった「新期造山帯」です。海洋プレートと大陸プレートがぶつかり合う境界に位置するため、現在も地殻変動が激しく、標高の高い山脈が形成されるとともに、マグマの供給による火山活動や、プレートのひずみに起因する地震が非常に多く発生するという特徴があります。
問11	答え 3 50メートル	二万五千分の一地形図における計曲線（太い実線）の間隔は50メートルと定められています。標高100メートルの計曲線から、さらに高い位置にある隣の計曲線へ移動した場合、その地点の標高は150メートルとなるため、標高差は50メートルです。この間には10メートルおきに引かれる「主曲線」が4本存在しますが、太い実線のみに着目することで素早く計算を行うことができます。
問12	答え 1 フォッサマグナ	ラテン語で「大きな溝」を意味するこの地帯は、明治時代にドイツの地質学者ナウマンによって命名されました。日本列島の形成過程において、古い地層が深く沈み込み、その上に新しい地層が厚く堆積した地域を指します。この境界を境に、日本の地質構造は大きく東西で分かれています。
問13	答え 1 環太平洋造山帯に位置しており、地殻変動が活発なため、火山が多く地震も頻繁に起こる。	日本の地形を理解する上で、環太平洋造山帯という位置関係は重要です。この造山帯は地球上のプレートが沈み込む場所などに形成されるため、地下のマグマが発生しやすく火山が形作られるほか、プレートのひずみが解放される際に大規模な地震が発生します。これに対し、安定陸塊は地震がほとんどなく、アルプス・ヒマラヤ造山帯はアジアからヨーロッパにかけて横断する別の造山帯です。
問14	答え 1 果樹園	小さな丸に短い縦線が付いた記号は、樹木の形を象徴しており、地形図上で果実を栽培する土地であることを示します。選択肢にある他の記号と区別する場合、黒い点が3つ集まったものは茶畑、V字のような形は畑、小さな丸が3つ集まったものは桑畑を指します。